

ほほえみ新聞

THE Yasuragi <http://m-yasuragi.com>

ホームページもご覧下さい

2020年1月発行(第63号)
編集:やすらぎの園 広報部
E-Mail: nagano@m-yasuragi.com
所在地:〒388-8019
長野市篠ノ井杵淵213-4
TEL026-293-2600 Fax026-293-2959

むつみ家ももの木保育園竣工

託児所を移転して運用開始



昨年十月二十九日、当法人の小規模認可保育園整備事業計画に基づき令和二年四月の開設を目指し篠ノ井杵淵大門西一三〇六に建設が進められていた「むつみ家ももの木保育園」が竣工しました。十一月四日には内覧会を行いました。子ども連れのご家族や近隣より七十四名の皆様にお越しいただき、木のぬくもりある園舎をご覧いただきました。同十八日から、やすらぎの園(特養)内で運営していた託児所をももの木保育園園舎に移転、保育施設として運用を開始しています。

園舎は木造二階建て。木をふんだんに使い、床、腰板、天井の梁などから木のぬくもりが感じられ、落ち着いた保育環境となっています。また、各保育室の外にはプラットホームデッキ(上写真参照)を設け、朝夕の送迎時、保護者が忙しい場子さんの受け入れ、引き渡しが可能な造りとししました。天井の梁からブランコ、もも組(二歳児室・右写真)にはクライミングウォールを設け、室内でも元気いっぱい体を遊べるよ



うに工夫しました。二階には屋根デッキ(おぼろひろば)があり、夏にはプールを出して水遊びができるようになっていきます。また、保育用品類も出来る限り木製品を考え、長野県森林づくり県民税活用事業からの補助金を受けて、長野県産材を使用したイス、テーブル、本棚、輪投げ(下写真)を購入させていただきました。認可保育園としての本格的な稼働は四月からとなりますが、現在、やすらぎの園託児所を同園舎に移転して運用しており、子どもたちや保護者からも大変好評です。



認可申請の手続きは、昨年中に概ね完了しており、順調に進めば、一月下旬から二月上旬頃に、長野市より認可を受けられる見込みです。四月の開園に向け、これからソフト面を中心にさらに準備を進めていきます。

謹賀新年

昨年中に賜りましたご厚情に御礼いたしますと共に、希望の新年、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。
総合福祉施設 やすらぎの園
統括施設長 中島 謙二



2019年末 年越し準備



餅つき大会

昨年の12月23日、毎年恒例の餅つき大会が施設玄関前で行われました。つきたてのお餅は大変美味しいですが、特に高齢者では誤ってのどに詰まらせてしまうリスクも高いため、ここ数年は「餅つき」という冬の風物詩は残しつつ「ついたお餅で鏡餅を作り館内に飾ろう」という企画で行われています。当日は、多くのご入居者様にも実際に餅つきを体験していただき(写真)、ついたお餅はさっそく「鏡餅班」に渡され、ご入居者も加わって手作り鏡餅に変身。お正月、館内に飾られました。



しめ縄づくり

昨年の12月3日、新年を迎える準備として毎年恒例のしめ縄作りが行われました。地元の老人クラブ・和楽会の皆様を講師としてお招きし、近隣の篠ノ井東中学校の皆さんにもお手伝いいただきました。しめ縄作りはほとんどの生徒さんが初めてでしたが、和楽会の皆様から指導を受けて一人数本のしめ縄を仕上げ、出来栄の良いものをお土産として持ち帰りました。続いて、施設玄関に飾る大しめ縄作りも行われ、無事にお正月の準備が整いました。和楽会、東中の生徒の皆さんご協力ありがとうございました。



やすらぎフォトギャラリー

当施設のさまざまな取り組みを皆様に写真でお届けします。



地域合同防災訓練(9月)



敬老の日交流会(9月)



宮入慶之助記念館記念講演会(11月)

編集後記

「ほほえみ新聞」いかがだったでしょうか。今回は久々の発行となり、かつ、私(筆者)にとっては初めての編集となりました。私たち「やすらぎの園」の取り組みについて知っていただき、少しでも興味・関心を持っていただければ幸いです。...

これは、今からちょうど十年前、筆者が前任者より引き継いで、初めて「ほほえみ新聞」を編集した時の編集後記の一部です。我ながら初々しいと言いますか、何ともまともな普通の編集後記だと思えます。それがいつの頃からか脱線を始め、十年後には筆者が心に思い浮かぶことを好き勝手に書く場所になってしまいました。

筆者が名乗る「ヨシタカ」は、実は筆者の長男の名前。十年前、初めて親になった喜びからこの名を名乗り始めました。その息子は今年で十一歳、四月からは六年生。時の経つのは実に早いものです。

これまでの編集後記を読み返すと、あの日のあの時、筆者が何を思い、何を考えていたのかが詳細にわかり大げさです。ある意味で日記帳のようでもあり、今となつては大変貴重な記録となりました。

この十年間、当施設を含め我々を取り巻く社会は随分変わりました。これから十年、社会はどのように進化もしたら退化かもしれませぬが、生きていくのでしよう。そして私は、何を感じて生きていくのでしようか。

ヨシタカ

※紙面上の入居者様の写真は、ご本人及びご家族の了承を得て掲載しています。

ユニットリーダー研修実地研修施設に向けて 初挑戦、合格基準にいま一步

平成 27 年 4 月の施設建替えにより全室個室のユニット型特養となったやすらぎの園。平成 28 年度よりユニットケア推進計画を打ち出し、ユニットリーダー研修実地研修施設に登録することを目指し、これまで 3 年間取り組んできました。そして令和元年、その集大成としてユニットリーダー研修実地研修施設への登録申請を行いました。

7 月に書類審査を通過。10 月 1 日、一般社団法人日本ユニットケア推進センターより 2 名の調査員と長野県庁より担当者が来所され、終日、99 項目からなる現地調査が行われました。調査後の講評では、建物の構造やソフト面での取り組みに

ついて評価していただいた一方、「生活感」や「住まい」とは何かをもう一度見つめ直すこと、記録や会議のあり方などについて多様なアドバイスを頂きました。

12 月上旬、選考結果が通知されました。結果は合格基準には届かず、初めての挑戦は厳しい結果となりました。しかしながら、施設内部では評価しにくいケアの在り方について、より専門的な視点より詳細な評価と課題を提案していただいたことは、私たちにとって大変有意義な機会となりました。これまでの反省点も含め、今後の取り組みに大いに生かし、これからも質の高いユニットケアを目指し合格に向け邁進していきます。

台風 19 号 豪雨

特養 1 階ご入居者 2 階へ避難



(写真上)、「洪水時の避難確保計画」も作成しましたが、現実を目の当たりにし、多くの課題も見えてきました。近年の地球温暖化に伴う異常気象の傾向を見ると、今後こうした事態が起こり得る可能性が高いことが予想されます。被害を最小限に抑え、継続して施設運営がなされる体制を早急に整える必要を痛感しました。

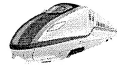
昨年の十月十二日から十三日にかけて日本列島に上陸した台風十九号。長野市内においても千曲川及びその流域において堤防越水、決壊により甚大な被害をもたらしました。千曲川の堤防まで直線距離で約百 m ほどの位置にある当施設はハザードマップ上でも五〜十 m の浸水域に入り、十二日当日、大雨特別警報が発令された十五時三十分、中島統括施設長の指示にて施設一階のご入居者五十八名を二階へ避難誘導、次いで生活備品や主要な家電製品、事務所パソコンなどを二階へ運び上げました。また、台風の接近に伴い千曲川の水位が上昇し続ける中、近隣住民の皆様の中には一時避難場所として当施設二階の地域交流ホール「むつみホール」へ避難されてくる方も二十名ほどおり、不安の中、皆で一晩を共に過ごしました。奇跡的に当施設は浸水を免れましたが、いつ浸水してもおかしくない状況であったことは間違いないです。昨年六月の施設防災訓練では、水害を想定した避難訓練を実施

家族会大掃除 昨年の十一月三十日、毎年恒例の家族会大掃除が行われ、五十五家族六十八名の皆様にご参加いただきました。今季の冬は暖冬の傾向ということもあり、当日もこの時期として大変温かく、施設外周の落ち葉掃きや、すす払いなどの外作業も大変はかどりました。施設職員もご家族の皆様と共に清掃作業に汗を流し、お蔭をもちまして施設の隅々まできれいな状態になり、気持ちよく新しい年を迎えることができました。その後の昼食会もゲームなども交えながら楽しく、和やかな時間を過ごしました。大掃除にご協力いただいたご家族の皆様にご感謝申し上げます。



日帰り職員旅行

好きなプランで旅行を満喫



やすらぎの園共済会では、職員のリフレッシュと親睦を深めることを目的として年に一回、日帰りの職員旅行を実施しています。今年度は五つのコースが用意され、各職員が希望のプランを選んで、勤務調整をして交替で旅行を楽しんでいます。

昨年の九月十日、筆者も東京・両国国技館大相撲秋場所観戦のプランに参加しました。相撲が特別好きというわけではないのですが、日本の国技である相撲を一度は「一生」で見たいと思いたいこのプランに参加しました。

東京駅近くで昼食をとった後、早速国技館へ。幕下の取り組みから結びの一番まで、ビール片手に二階席から大相撲観戦を堪能しました。ひいきの力士への声援や取り組み前の立会いの空気の緊迫感、取り組みの一番一番に一喜一憂する会場の一体感が感動的で、テレビ観戦ではなかなか伝わらない臨場感を味わうことができました。

特に長野県の郷土力士、御嶽海が登場した時には、ボルテージも最高潮に。県内小学校の修学旅行と思われる一団も観戦していて、御嶽海ホールに横断幕と大歓声が上がって、見事に勝利を収めました。※横綱不在でしたがこの場所、御嶽海は見事優勝しました。

初めての大大相撲観戦は予想以上に見ごたえがあり大満足でした。また、普段なかなか話す機会の少ない他部署の職員とも話が弾み大変楽しく、有意義な旅行となりました。



お気色にお出掛けください。

オレンジカフェ 開催情報

オレンジカフェ やすらぎ
 ◇日時：毎月第2火曜日 AM10:00~12:00
 ◇場所：やすらぎの園(篠ノ井杵淵) 地域の緑側 いこい広場
 ◇参加費：100円

オレンジカフェ まつしろ
 ◇日時：毎月第3金曜日 AM10:00~12:00
 ◇場所：柴やすらぎの園(松代町栄) 地域交流ホール
 ◇参加費：100円

感染症から 身を守る!!

インフルエンザ・ノロウイルスなどの感染症が流行する季節になりました。こうした感染症から身を守るためには、日常的な手洗いが大切です。健康管理、感染症の予防のためにも、手洗いがいを日頃の習慣にすることをお勧めします。

◆手洗いの方法◆

- ① 時計やアクセサリを外す。
- ② 水で手を濡らす。
- ③ 石けんをつけ、良く泡立てる。
- ④ 手のひらと手の甲をこすって洗う。
- ⑤ 指と指の間を洗う。
- ⑥ 親指を反対の手で包んで洗う。
- ⑦ 指先、爪、爪の間を反対の手のひらでこすって洗う。
- ⑧ 手首を洗う。
- ⑨ 水で十分にすすぐ(10~15秒)。
- ⑩ 清潔なタオルやペーパータオルで手を拭く。



基本は 手洗いうがい

◆うがいの方法◆

- ① 一含み(約 20ml)の水(お茶も殺菌作用があるので意外と効果的です)を口に含む。
- ② まず、口の中の食物のカスなどを取り除くため、強くうがいをする。
- ③ 上を向いて、のどの奥まで液が届くように15秒程度うがいをする。
- ④ ③と同様に、もう一度15秒程度うがいをする。

